

2016年10月19日

三菱UFJリース株式会社
株式会社日本政策投資銀行

三菱UFJリース(株)と(株)日本政策投資銀行 国内最大規模の医療・介護特化型投資ファンドを組成

三菱UFJリース株式会社（代表取締役社長：白石 正、以下「MUL」という。）および株式会社日本政策投資銀行（代表取締役社長：柳 正憲、以下「DBJ」という。）は、病院や高齢者施設を対象にファイナンス提供や不動産流動化等を手掛ける投資ファンド（以下「当ファンド」という。）を、総額 250 億円で組成することに合意しました。医療・介護分野に特化した投資ファンドとしては、国内で最大規模となります。

わが国の医療・介護分野では、施設の老朽化や病院経営者の高齢化などの構造的な課題も浮き彫りになっており、築古の病院の建て替えや医療機関の機能強化・転換による経営安定化支援へのニーズが従来以上に高まっております。こうしたなか、政府は「日本再興戦略」等で病院と介護一体型の「地域包括ケアシステム」の普及を強く推進しており、将来的に医療と介護の連携や機能一体化による経営強化を模索する動きも加速していくものと見込まれております。

MUL と DBJ はこれまでも、地域医療機関向け劣後ローンの提供を目的とする「地域ヘルスケア成長ファンド（総額 100 億円）」を、平成 26 年 5 月に共同で組成するなど、この分野において積極的な協業を進めてまいりました。今回立ち上げる当ファンドでは、病院や高齢者施設を対象として、劣後ローンの提供のみならず、不動産流動化や再生型債権投資等のより多彩な金融サービスを提供するほか、開発型の不動産流動化案件にも取り組み、ヘルスケア REIT 等との連携も進めていく予定です。

また、当ファンドの無限責任組合員であるヘルスケアマネジメントパートナーズ株式会社（代表取締役社長：村山 浩、以下「HMP」という。）の株式持分を、本年 10 月 17 日付で三菱商事株式会社（以下「MC」という。）から MUL が譲り受け、MUL と DBJ の 2 社による共同出資体制となりました。これにより、高い専門性が要求されるヘルスケア分野で豊富な実績のある HMP のアセットマネジメントノウハウに加え、DBJ による地域金融機関との連携機能、MUL が持つ医療機関との取引ネットワークの活用が可能となり、今後は 3 社の協働により病院・介護施設の成長や経営安定化を金融面からサポートしてまいります。

医療・介護分野において、MUL はこれまで医療機関向けファイナンスに加え、グループ会社を通じて中古医療機器売買や介護施設運営を手掛けるなど、金融機能に留まらない幅広いサービスを提供してまいりました。今後はこれらの機能に加えて、HMP が持つ病院・介護施設向けアセットマネジメントの知見や、今後、IT や人材サービス等の各種機能を付加することで、政府が進める「地域包括ケアシステム」の構築を支えるトータルソリューションの提供を目指していく予定です。

DBJ は、わが国のヘルスケア市場の持続的な発展を支援するべく、これまでファイナンス（不動産流動化への対応や「DBJ ビジヨナリーホスピタル」等の評価認証型融資の活用を含む）、アドバイザーサービス、情報発信等に積極的に取り組んでまいりました。今後は、新ファンドを通じたリスクマネーの供給も含め、引き続き投融資一体型のソリューション提供機能をフルに発揮し、ヘルスケア事業者の成長や事業基盤強化を支援してまいります。

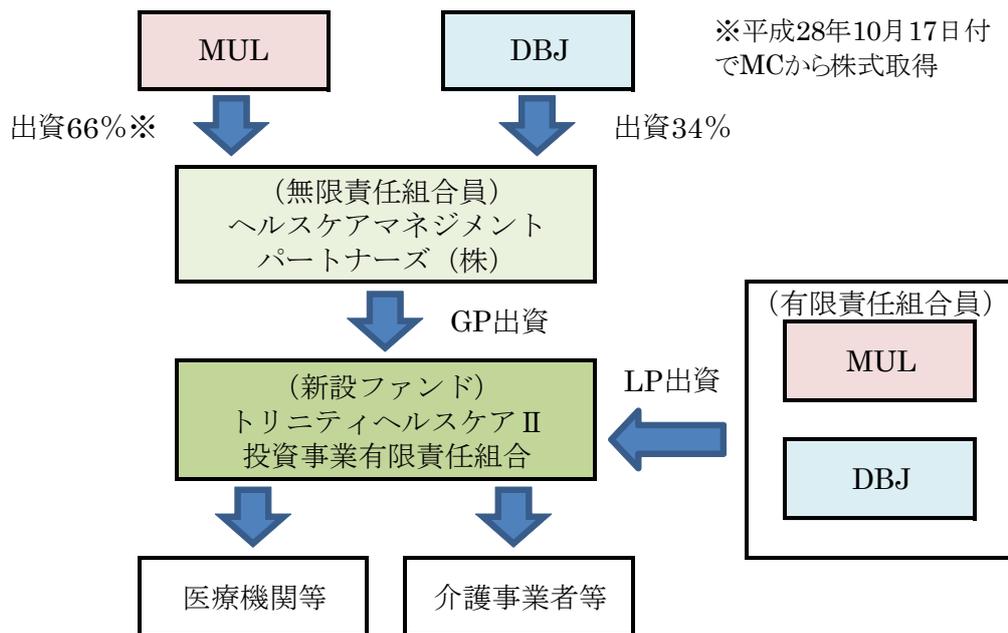
【当ファンドの概要】

名 称	トリニティヘルスケアⅡ投資事業有限責任組合
ファンド総額	250 億円（当初）
出資者	無限責任組合員：ヘルスケアマネジメントパートナーズ株式会社 有限責任組合員：三菱UFJリース株式会社 株式会社日本政策投資銀行

【運営会社の概要】

商 号	ヘルスケアマネジメントパートナーズ株式会社
所在地	東京都港区浜松町一丁目 27 番 16 号 浜松町 DS ビル 7 階
代表者	代表取締役社長 村山 浩
設 立	平成 19 年 2 月
事業内容	ヘルスケア関連のアセットマネジメント業務および医療機関等へのコンサルティング業務の提供等
資本金	300 百万円
株主	三菱UFJリース株式会社：66% 株式会社日本政策投資銀行：34%

〔新ファンドのスキーム図〕



本リリースに関するお問合せ先

三菱UFJリース株式会社
広報 IR 部
TEL：03-6865-3002

株式会社日本政策投資銀行
企業金融第6部 ヘルスケア室
TEL：03-3244-1730